

手順①：下記 I～VIの項目 A～Gのうち、該当するマスへ○印を付けて下さい

手順②：I～VIの項目毎に○印を付けたマスの数字を合計してI～VIの横軸の右端に合計点数を記載して下さい

手順③：別紙、六角形の図を完成させて下さい

	A	B	C	D	E	F	G	横軸の合計点数
I 自身や家族の状況 についてお答え下さい	ご自身の年齢が40歳以上 1	年齢が70歳以上の親、祖父母がいる 2	家族（親や祖父母）が約5年以内に介護が必要となる可能性がある 1	親、祖父母が単身で生活している 1	自分が介護する可能性のある親族がいる 2	要支援の家族がいる 2	家族が運動など介護予防をしていない 1	介護潜在リスク 点
II 親族に要介護者がいる方はお答え下さい	主に自分が介護をしている 2	主に同居の家族が介護をしている 1	市町村の介護相談窓口 に相談していない 1	公的サービスだけでは十分介護が足りていない 1	要介護者の施設入所を希望しているが入れない 1	要介護者がいることを会社や上司に相談していない 2	会社の介護休暇等の制度を使いたいが使えていない 2	緊急度 点
III ご存命の親（配偶者の親を含む）についてお答え下さい	親は持病がある 1	親のかかりつけ医を知らない 2	困った時、近所に助けられる知り合いがいない 1	最近、親の体調面の変化を知らない 2	親の資産についてよく知らない 1	親と介護の話をしたことがない 2	兄弟、親族等と介護の話をしたことがない 1	介護直面時の危険度 点
IV 右記についてご存じの場合は○印を付けて下さい	地域包括支援センター 1	相談員やケアマネジャーの役割 2	在宅介護と施設入所での介護がある 1	小規模多機能居宅介護など地域密着型サービス 1	1か月に使える介護保険サービスは上限がある 2	法定の介護休業制度（93日間）がある 1	介護に関する会社のサポートの概要 2	介護基本情報の認知度 10- 点
V あなたの職場の様子をお答え下さい	職場でプライベートな話 も自然にできる 1	困った時に助け合う風土がある 2	定期的上司と面談の機会がある 1	同僚や部下に介護の相談が出来ると思う 2	職場はワークライフバランスに理解がある 2	一定期間のまとまった休みがとれる 1	気兼ねなく半日、1日などの休暇がとれる 1	相談しやすさ 両立しやすさ 10- 点
VI あなたの職場の様子をお答え下さい	業務やノウハウのマニュアル化を進めている 2	業務の応援がスムーズに行えるよう多能工化を進めている 1	複数担当制が進んでいる 2	勤務時間に関わらず実績で適正に評価される 2	個々の従業員の業務スケジュールを従業員間で共有している 1	業務改善の取り組みが進められている 1	新しい仕事の進め方を常に工夫している 1	業務効率化等 10- 点
	A	B	C	D	E	F	G	

VI-B 多能工化…1人が複数の業務や工程をこなすことが出来るようになること

